

12. 学校給食センター別、給食人員及び職員数

令和4年5月1日現在(単位:人)

学校給食センター名	受配校	給食人員	職員数				
			総数	所長	事務職員	調理員	栄養士
はごろも学校給食センター	普天間小学校、普天間第二小学校、はごろも小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校	6,243	43	1	2	38	2
宜野湾学校給食センター	宜野湾小学校、長田小学校、志真志小学校、宜野湾中学校	3,286	24	0	4	18	2
大山学校給食センター	大山小学校	621	9	0	0	8	1

注：栄養士は県費職員である
調理員は委託業者である

資料：教育委員会

13. 小(幼)・中学校施設状況

令和4年5月1日現在(単位:㎡・%)

学校名	事項	校舎敷地		運動場敷地		校舎			屋内 運動場 面積	水泳 プール 面積
		現有面積		現有面積		必要面積	校舎保有 面積	保有率		
		保有面積	借用面積	保有面積	借用面積					
小	小学校計	90,090	17,451	66,238	7,300	67,929	60,298	89	10,648	3,200
	普天間小学校	160	14,440	—	7,300	5,992	4,404	73	1,215	0
	普天間第二小学校	8,593	1,104	8,826	—	7,089	6,912	98	1,101	400
	大山小学校	5,826	—	8,829	—	6,657	6,586	99	1,173	400
	大謝名小学校	15,937	—	7,770	—	7,029	6,550	93	1,266	400
	嘉数小学校	15,180	—	7,027	—	8,711	7,720	89	1,215	400
	志真志小学校	9,961	—	12,292	—	8,711	7,720	89	1,238	400
	宜野湾小学校	13,823	64	5,804	—	7,988	7,219	90	1,295	400
	長田小学校	9,243	—	8,720	—	7,035	5,667	81	930	400
はごろも小学校	11,367	1,843	6,970	—	8,717	7,520	86	1,215	400	
中	中学校計	50,248	—	40,669	—	31,165	30,506	98	5,203	1,600
	普天間中学校	14,210	—	9,015	—	6,281	7,224	115	1,335	400
	嘉数中学校	8,656	—	8,189	—	8,135	8,280	102	1,240	400
	真志喜中学校	15,376	—	13,038	—	9,094	8,170	90	1,550	400
	宜野湾中学校	12,006	—	10,427	—	7,655	6,832	89	1,078	400
幼	幼稚園計	14,094	1,893	—	—	5,898	6,688	113	—	—
	普天間幼稚園	—	1,893	—	—	516	574	111	—	—
	普天間第二幼稚園	1,626	—	—	—	516	683	132	—	—
	大山幼稚園	1,353	—	—	—	725	640	88	—	—
	大謝名幼稚園	2,136	—	—	—	725	749	103	—	—
	嘉数幼稚園	1,310	—	—	—	725	873	120	—	—
	志真志幼稚園	2,793	—	—	—	725	974	134	—	—
	宜野湾幼稚園	1,326	—	—	—	725	682	94	—	—
	長田幼稚園	1,060	—	—	—	516	556	108	—	—
はごろも幼稚園	2,490	—	—	—	725	957	132	—	—	
幼・小・中合計	154,432	19,344	106,907	7,300	104,992	97,492	93	15,851	4,800	

注：普天間小学校の校舎保有面積は建替に伴う仮設校舎の面積

資料：教育委員会

14. 小学生・年齢別体位の推移（身長）

(その1)

各年度5月1日現在(単位:cm)

区分 年度	6 才						7 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成29年度	115.0	115.5	116.5	114.2	114.9	115.7	121.1	121.3	122.5	120.6	120.8	121.5
平成30年度	—	115.8	116.5	—	115.1	115.6	—	121.1	122.5	—	120.8	121.5
令和元年度	—	115.6	116.5	—	114.8	115.6	—	121.9	122.6	—	120.8	121.4
令和2年度	—	116.6	117.5	—	115.9	116.7	—	122.1	123.5	—	122.2	122.6
令和3年度	—	115.8	116.7	—	115.2	115.8	—	121.9	122.6	—	121.3	121.8

(その2)

区分 年度	8 才						9 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成29年度	126.4	126.9	128.2	126.4	126.6	127.3	132.6	132.3	133.5	133.3	133.1	133.4
平成30年度	—	127.2	128.1	—	126.8	127.3	—	132.2	133.7	—	133.4	133.4
令和元年度	—	126.8	128.1	—	126.9	127.3	—	132.8	133.5	—	133.1	133.4
令和2年度	—	127.6	129.1	—	128.0	128.5	—	133.7	134.5	—	134.2	134.8
令和3年度	—	127.0	128.3	—	127.1	127.6	—	132.3	133.8	—	133.7	134.1

(その3)

区分 年度	10 才						11 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成29年度	137.1	137.8	139.0	139.6	140.0	140.1	143.9	144.1	145.0	145.7	146.4	146.7
平成30年度	—	137.7	138.8	—	140.3	140.1	—	144.3	145.2	—	146.0	146.8
令和元年度	—	138.5	139.0	—	140.8	140.2	—	144.0	145.2	—	146.6	146.6
令和2年度	—	139.4	140.1	—	141.3	141.5	—	145.8	146.6	—	148.1	148.0
令和3年度	—	138.1	139.3	—	141.1	140.9	—	145.6	145.9	—	147.1	147.3

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。

資料：教育委員会

全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する可能性がある）。

15. 小学生・年齢別体位の推移（体重）

(その1)

各年度5月1日現在（単位：kg）

区分 年度	6 才						7 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成29年度	20.9	21.2	21.4	20.5	20.8	21.0	23.6	23.7	24.1	23.4	23.4	23.5
平成30年度	—	21.5	21.4	—	20.8	20.9	—	23.8	24.1	—	23.4	23.5
令和元年度	—	21.1	21.4	—	21.0	20.9	—	24.4	24.2	—	23.4	23.5
令和2年度	—	21.8	22.0	—	21.1	21.5	—	24.3	24.9	—	24.3	24.3
令和3年度	—	21.4	21.7	—	21.1	21.2	—	24.5	24.5	—	24.0	23.9

(その2)

区分 年度	8 才						9 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成29年度	26.6	26.8	27.2	26.1	26.5	26.4	30.5	30.2	30.5	30.7	30.1	29.9
平成30年度	—	26.9	27.2	—	26.6	26.4	—	30.2	30.7	—	30.6	30.0
令和元年度	—	26.7	27.3	—	26.9	26.5	—	30.6	30.7	—	30.5	30.0
令和2年度	—	27.9	28.4	—	27.4	27.4	—	32.1	32.0	—	31.1	31.1
令和3年度	—	27.2	27.7	—	27.0	27.0	—	30.7	31.3	—	30.5	30.6

(その3)

区分 年度	10 才						11 才					
	男			女			男			女		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
平成29年度	33.6	34.0	34.2	34.6	34.7	34.0	38.3	38.3	38.2	39.5	39.6	39.0
平成30年度	—	33.9	34.1	—	34.6	34.1	—	38.5	38.4	—	39.3	39.1
令和元年度	—	34.7	34.4	—	35.3	34.2	—	38.0	38.7	—	39.8	39.0
令和2年度	—	35.9	35.9	—	36.0	35.4	—	40.6	40.4	—	40.8	40.3
令和3年度	—	34.1	35.1	—	35.2	35.0	—	39.9	39.6	—	40.0	39.8

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。

資料：教育委員会

全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する場合がある）。

16. 中学生・年齢別体位の推移（身長）

（その1）

各年度5月1日現在（単位：cm）

区分 年度	12 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成29年度	152.3	152.1	152.8	151.4	151.1	151.8
平成30年度	—	151.9	152.7	—	150.7	151.9
令和元年度	—	152.3	152.8	—	151.2	151.9
令和2年度	—	153.3	154.3	—	151.6	152.6
令和3年度	—	153.3	153.6	—	151.5	152.1

（その2）

区分 年度	13 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成29年度	159.2	159.3	160.0	153.9	153.7	154.9
平成30年度	—	159.4	159.8	—	153.6	154.9
令和元年度	—	159.7	160.0	—	153.5	154.8
令和2年度	—	160.1	161.4	—	153.5	155.2
令和3年度	—	159.7	160.6	—	153.6	155.0

（その3）

区分 年度	14 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成29年度	164.4	164.4	165.3	155.1	154.9	156.5
平成30年度	—	164.4	165.3	—	154.8	156.6
令和元年度	—	164.2	165.4	—	155.1	156.5
令和2年度	—	164.8	166.1	—	154.3	156.7
令和3年度	—	164.8	165.7	—	154.9	156.5

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。

資料：教育委員会

全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する可能性がある）。

17. 中学生・年齢別体位の推移（体重）

(その1)

各年度5月1日現在（単位：kg）

区分 年度	12 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成29年度	44.0	44.2	44.0	44.7	44.4	43.6
平成30年度	—	44.2	44.0	—	44.2	43.7
令和元年度	—	45.1	44.2	—	44.6	43.8
令和2年度	—	46.5	45.8	—	44.9	44.5
令和3年度	—	45.6	45.2	—	45.0	44.4

(その2)

区分 年度	13 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成29年度	47.9	49.2	49.0	48.4	47.7	47.2
平成30年度	—	49.7	48.8	—	47.8	47.2
令和元年度	—	49.7	49.2	—	47.6	47.3
令和2年度	—	51.1	50.9	—	47.8	47.9
令和3年度	—	50.2	50.0	—	47.4	47.6

(その3)

区分 年度	14 才					
	男			女		
	市	県	全 国	市	県	全 国
平成29年度	54.0	54.2	53.9	49.4	49.8	50.0
平成30年度	—	54.3	54.0	—	49.9	49.9
令和元年度	—	54.0	54.1	—	49.4	50.1
令和2年度	—	55.5	55.2	—	50.0	50.2
令和3年度	—	56.1	54.7	—	50.1	50.0

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。

資料：教育委員会

全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する可能性がある）。

18. 中央公民

《室別利用状況》

年度	室別		集 会 場		研 修 室 (1)		研 修 室 (2)	
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
平成29年度	2,269	47,698	815	25,949	125	2,125	379	4,818
平成30年度	2,248	45,673	749	25,551	186	2,710	420	5,527
令和元年度	1,988	40,453	677	22,928	160	2,339	364	4,664
令和2年度	1,099	9,835	63	904	221	1,845	361	3,514
令和3年度	916	13,659	234	7,395	156	909	204	1,750

19. 市民会館

《室別利用状況》

年度	室別	大 ホ ー ル			会 議 室		
		開館日数	利用日数	利 用 率	開館日数	利用日数	利 用 率
平成29年度		308	120	39.0	308	83	26.9
平成30年度		308	112	36.4	308	50	16.2
令和元年度		308	98	31.8	308	38	12.3
令和2年度		42	3	7.1	42	1	2.4
令和3年度		126	22	17.5	126	11	8.7

注：開館日数＝総日数－休館日＋休館日に貸出した日数

資料：生涯学習課

休館日は新型コロナウイルスによる休館、改修工事に伴う休館、火曜日、年末年始

利用日数には準備及びリハーサルを含む

令和2年度は長期間の改修工事を行った

令和3年度は11月～3月まで改修工事を行った

20. 市立博物館来館者数

各年度末現在(単位:人)

区 分	来 館 者 数				
	合計	幼児	児童・生徒 (小・中)	学 生 (高・大)	大人
平成29年度	22,972	1,252	6,880	2,459	12,381
平成30年度	33,776	2,585	6,599	1,743	22,849
令和元年度	34,743	2,517	13,818	1,470	16,938
令和2年度	8,147	234	2,742	151	5,020
令和3年度	10,973	310	4,361	357	5,945

注：令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、休館があった

資料：市立博物館

館 利 用 状 況

(単位:回・人)

調理実習室		視聴覚室		児童室		展示室		図書室	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
53	1,316	482	5,371	163	2,166	252	5,953	—	5,939
33	814	516	6,283	143	1,553	201	3,235	—	6,480
44	779	487	5,801	127	1,724	129	2,218	—	6,254
23	186	228	2,060	201	1,278	2	48	—	2,469
7	91	161	1,466	39	238	115	1,810	—	1,341

資料：中央公民館

利 用 状 況

《用途別利用状況》

各年度末現在(単位:件)

用途別 年度	総数	音楽会		演劇	舞踊		演芸	映画	式典	講演会	各種 大会	その 他	利用人員
		洋楽	邦楽		洋舞	邦舞							
平成29年度	69	16	8	6	1	0	10	2	4	14	6	2	54,400
平成30年度	71	8	15	3	0	3	21	0	1	5	6	9	52,755
令和元年度	57	14	13	12	1	1	0	2	2	2	5	5	41,825
令和2年度	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	318
令和3年度	22	0	4	0	0	3	5	0	0	1	0	9	4,670

注：利用件数は、数日間利用する場合でも1件とする

資料：生涯学習課

21. 市民図書館利用状況

各年度末現在(単位:冊・人・日)

区 分 \ 年 度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
蔵 書 数	図 書	323,876	326,584	329,606	327,313	325,509
	視聴覚	14,097	14,414	14,748	15,034	15,331
	雑 誌	6,017	6,066	6,430	6,021	5,976
	計	343,990	347,064	350,784	348,368	346,816
登 録 者 数 (うち市民)		26,455 (25,106)	25,122 (24,331)	26,194 (25,397)	27,720 (26,909)	29,267 (28,386)
開 館 日 数		267	270	255	221	194
年 間 利 用 者 数 (1日当たり利用者数)		85,271 (319)	85,138 (315)	78,286 (307)	52,165 (236)	46,689 (241)
年 間 貸 出 冊 数 (登録者1人当たり貸出冊数)		312,710 (11.8)	318,416 (12.7)	309,322 (11.8)	253,612 (9.1)	230,677 (7.9)
市民1人当たり蔵書数		3.5	3.5	3.5	3.5	3.5

注: 蔵書数(図書)には、絵画717点を含む

資料: 市民図書館

22. 体育施設利用状況

その1 《使用料》

各年度末現在(単位:円)

施設名 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
体育館	23,368,770	24,939,630	25,221,440	15,038,150	35,569,610
野球場	3,500,820	3,952,280	3,144,970	2,564,090	2,758,730
屋内運動場	3,691,890	3,057,960	1,081,420	—	—
多目的運動場	—	—	5,471,030	8,862,250	7,228,800
グラウンド	1,699,100	2,369,800	2,099,920	388,760	468,280
計	32,260,580	34,319,670	37,018,780	26,853,250	46,025,420

資料:施設管理課

その2 《利用人数》

各年度末現在(単位:人)

施設名 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
体育館	131,897	163,787	185,593	58,653	89,999
野球場	53,997	58,008	40,079	11,556	23,987
屋内運動場	11,868	8,604	6,356	—	—
多目的運動場	—	—	2,240	35,689	19,337
グラウンド	41,405	45,990	35,987	14,611	12,939
計	239,167	276,389	270,255	120,509	146,262

注:令和元年10月9日に屋内運動場の解体工事完了
令和2年1月27日から多目的運動場の供用開始

資料:施設管理課

23. 屋外劇場利用状況

各年度末現在(単位:円・人)

区分 \ 年度	屋外劇場使用料	屋外劇場利用者数
平成29年度	4,799,700	19,971
平成30年度	3,229,840	18,630
令和元年度	3,945,810	26,167
令和2年度	1,149,430	3,643
令和3年度	—	—

注:令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントの中止があった
令和3年度は解体工事のため、利用不可

資料:施設管理課

24. 国・県・市の指定・登録文化財

市内に所在する文化財は、永く私たちの市民の祖先が生成発展させてきたかおり高い市民環境の一部であり、地域の歴史と文化を知る大切な市民共有の財産でもあります。そのため、国・県・市では文化財保護法令や諸規則などを定めて、これら多くの文化財の中から市民にとっても重要なものを選んで指定・登録し、後世の子どもたちに残していくため保護を強めています。

国指定文化財

令和4年4月1日現在

名 称	所 在 等	内 容
ちゅんなーがー ①喜友名泉 (有形文化財〔建造物〕) 平成4年8月10日指定	喜友名： 県道81号線沿いの斜面緑地にある喜友名区の村泉（ムラガー）。	沖縄県を代表する石造湧泉である。イナグ(女)ガーとも呼ぶカーグラーは日々の飲料水や洗濯に使われ、イキガ(男)ガーとも呼ぶウフガーではワカミジ(若水)・ウブミジ(産水)を汲み、牛馬に水を浴びさせた。
おおやまかいづか ②大山貝塚 (史 跡) 昭和47年5月15日指定	大 山： 国道58号沿い株式会社ジミーの裏手の美底森と呼ぶ山林にある縄文時代後期相当の遺跡。	1958(昭和33)年に賀川光夫氏と多和田眞淳氏により、沖縄県で初めて考古学的手法で発掘調査された遺跡である。約3000年前の地層から多量に出土した深鉢形土器は大山式土器と呼ばれ、沖縄の指標土器となっている。

資料：文化課

県指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
おろくぼか ①小祿墓 (有形文化財〔建造物〕) 昭和33年1月17日指定	嘉 数： 戦跡として知られる嘉数高台の北側、比屋良川沿いの断崖にある古墓。	断崖の中腹を掘り込んで、正面を石積みで塞いだ古式の墓である。葬儀の際には、正面中央の石積みを取り外し、棺を入れた御輿(ウチュウ：肩でかつぐ輿)ごと入れる。
おろくぼかない いしずし ②小祿墓内石厨子 (有形文化財〔彫刻〕) 昭和33年1月17日指定	嘉 数： 小祿墓に納められている。中国産の石材(閃緑岩)製の大型蔵骨器。	蔵骨器の正面中央には、『弘治七年おろく大やくもい六月吉日』の銘文がある。弘治七(1494)年は沖縄最古級の平仮名文字である。全体に浮き彫りが施され、蓋には屋根瓦に火炎宝珠と龍、身には花活けを持った二人の童子や蓮弁などがあしらわれる。
ぎのわんし もりのかわ ③宜野湾市森の川 (名 勝) 昭和42年4月11日指定 平成12年5月19日追加指定	真志喜： 森川公園内に所在する真志喜区の村泉(ムラガー)。村の聖地であるウガンヌカタも指定地内に所在。察度王の生誕にまつわる羽衣伝説で知られる。	湧き出した水が地面を削ってできた溪谷泉で、1725(雍正3)年に向氏伊江家(首里士族)により石造で整備された。1957(昭和32)年にはここを水源とする簡易水道が造られ、姿が変わってしまったが、その後の上水道整備と琉球政府による名勝指定により修復工事が行なわれ、現在の姿となった。

資料：文化課

市指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
おろくぼか せきちようこうろ ①小祿墓石彫香炉 (有形文化財〔彫刻〕) 平成3年8月1日指定	嘉 数： 小祿墓の墓庭に置かれた輝緑岩(中国産の石材)製の香炉。	香炉の四面に火炎宝珠(又は太陽)や麒麟・花生け、四隅に獅子が浮き彫りされている。1806(嘉慶11)年に馮姓の士族より寄進された。
おろくぼか せきちようしし ②小祿墓石彫獅子 (有形文化財〔彫刻〕) 平成3年8月1日指定	嘉 数： 小祿墓の墓庭に置かれた一対の凝灰岩製の石彫獅子。	未指定の凝灰岩製の香炉の両脇に置かれた墓守の石彫獅子である。獅子は、立ち上がった形であるが、磨滅が著しく、元の姿がわかりづらい。

資料：文化課

市指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
ま し き さ き ま け も ん じ ょ ③真志喜佐喜真家文書 (有形文化財〔古文書〕) 平成3年8月1日指定	真志喜：琉球王国時代の「真志喜のろ(謝名のろ)」の生家である奥間家(屋号)に伝わる古文書。	琉球王国時代に、宜野湾西海岸一帯の村々の祭祀を司った地方女神官である謝名のろ職の継承や職名変更の経緯が記された文書で、当時の村人の祖霊観等も記される。
め い じ と ち だ い ち ょ う ふ ぞ く ち ゅ う ④明治土地台帳附属地図 (有形文化財〔歴史資料〕) 平成3年8月1日指定	野 嵩：市役所保管の村図(大字図)10葉と宇地泊区自治会保管の字図(小字図)3葉。	明治政府による土地改正に伴う土地台帳の附属地図として明治30年代に作成された。当時の土地利用や、区画の様子が詳しくわかる歴史資料である。
き ゆ な の い し じ ゅ ぐ ん ⑤喜友名の石獅子群 (有形民俗文化財) 平成元年3月31日指定 平成25年3月27日追加指定	喜友名：喜友名区の旧集落の周りを取り囲む石獅子群。指定された石獅子は7体。	村獅子としては沖縄最多の7体の石獅子で、他にヒージャーガーやウフブタと呼ばれる石体があり、石獅子とあわせて邪悪なものから村を守る。
が に く ひー じ ゃー がー ⑥我如古ヒージャーガー (有形民俗文化財) 昭和51年4月2日指定	我如古：我如古区公民館の後方を流れる志真志川沿いの崖下にある区の村泉(ムラガー)。	我如古の人々が共同で使う湧き水の中で最も古い湧泉と言われ、重要な聖地でもある。岩盤を削って平石をはめ込んだ15段の石段、湧泉を取り囲む積み石など、1892(明治25)年頃の石造建築である。
ふ て ま の し し ま い ⑦普天間の獅子舞 (無形民俗文化財) 平成元年3月31日指定	普天間：普天間拝所にて旧暦七月十三・十五日、八月十五日に開催。	琉球国王尚元(1528～1572)から村興しの神として普天間に贈られた説や普天間の「赤馬」と野嵩の「獅子」を取り替えたとも伝わる。演技に数々の特徴があり、細かい芸や演劇的な所作により構成される。
お お じ ゃ の し し ま い ⑧大謝名の獅子舞 (無形民俗文化財) 平成元年3月31日指定	大謝名：戦前は旧暦七月十五日と八月十五・十六日の三回開催され、現在は大謝名公民館にて旧暦八月十五日のみに開催。	踊りが素朴かつ勇壮であり、四方へ吠えるという獅子本来の魔除けの性質を示すなど威厳さが保たれている。1976(昭和51)年に33年ぶりに復活した。
が に く す ん さー みー ⑨我如古スンサーミー (無形民俗文化財) 平成7年12月27日指定	我如古：戦前は我如古松の下で旧暦三月三日に行われていたが、現在は我如古区公民館で旧暦三月三日以後の週末に開催。	我如古の女性達が豊年と子孫繁栄を願って行うサングワチャー行事の1つとして受け継がれたスンサーミー、スーラキ節、今帰仁節の3曲の唄と、それに対応する踊りで構成されている。スンサーミーだけは、四つ竹を打ちながら踊る。
の だ け い し だ た み ち ⑩野嵩石畳道 (史 跡) 平成元年3月31日指定	野 嵩：普天間二区から中城村登又区に抜ける県道29号線の左手斜面の石畳道。	琉球王国時代の旧中城間切と旧勝連・具志川間切に至る公道(宿道)である。護佐丸・阿麻和利の乱に由来してスディバナピラ(袖離板)とも呼ばれる。
の だ け く し ゅ かー ⑪野嵩クシヌカー (史 跡) 平成元年3月31日指定	野 嵩：普天間(南)交差点を中城村向けに約300m進み、野嵩一丁目のバス停近くに所在。	野嵩区の村泉(ムラガー)で、市内でも高い所(標高81m)にある湧泉の一つである。湧泉の壁面を布積みと相方積みで階段状に仕上げる。共同生活用水としてだけでなく、戦中・戦後の収容所時代には軍作業の洗濯場として使われた。
い さ た け た う ば ら め い の し る び ど て ⑫伊佐「たけたう原」銘の印部土手 (史 跡) 平成3年8月1日指定	喜友名：パイプライン伊佐向けの山手側、普天間飛行場近くの佐渡山音楽教室より道沿いに約100m山手側をのぼり、西側の山林内に所在。	琉球王国が独自で実施した元文検地(約250年前)の土地測量の際に設置された図根点である。根張石で土留めされた土手に原名と記号が彫られた印部石が設置されている。
い さ は ま し ん ぞ う さ あ て ん は し ひ ⑬伊佐浜「新造佐阿天橋碑」 (史 跡) 平成元年3月31日指定	伊 佐：特別養護老人ホーム愛誠園の東側に延びる旧護岸のそばに立つ、「伊佐浜の碑文」と呼ばれる石碑。	琉球王国時代の「中頭方西海道」の公道整備の際に、北谷町北前区にあった佐阿天橋の新造を記念して1820(嘉慶25)年に建立された。

資料：文化課

第10章 教育・文化

市指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
おおやまたきひ ⑭大山御嶽碑 (史 跡) 平成元年3月31日指定	大 山 : 国道58号沿いの株式会社ジミー後方の伊波家(屋号)の聖地であるウガングラーに立つ石碑。	大山区の旧家のひとつ伊波門中の由来と拝みについて記され、1761(乾隆26)年に当時の宜野湾間切の上級役人層等によって建立された。
にしもり ひき ⑮西森碑記 (史 跡) 平成3年8月1日指定	真志喜 : 県指定文化財である「宜野湾市森の川」のウガヌカタにある石門の裏手に立つ石碑。	尚清王ゆかりの伊江家が、先祖の徳をしのび、石門と湧泉の石積み工事の完成を記念して、1725(雍正3)年に建立した。
おおやまやー がまどうけつせいせき ⑯大山マヤーガマ洞穴遺跡 (史 跡) 平成11年2月23日指定	大 山 : 普天間飛行場の大山ゲート近く、大山区の醜泉之塔の北隣に所在。	洞穴内では、縄文・グスク・琉球王国時代に相当する生活道具や遺骨・蔵骨器が出土した。地域の墓造りの移り変わりや葬り方を知る重要な遺跡である。
おおじやなめーぬかー ⑰大謝名メヌカー (史 跡) 平成3年8月1日指定	大謝名 : 大謝名区の村泉(ムラガー)で、港田原(ナトゥダバル)と呼ばれ、かつては入江だった。大謝名小学校の正門近くに所在。	地下水の湧き出る洞穴に三本の樋(水口)を架け、開口部分を布積みと相方積みで頑丈に塞いだ湧泉である。周囲は三段の野面積みで土砂崩れを防ぐ。生活用水や人生の節目に使う神聖な水を汲む場所であった。
もとぶどうどんぼか ⑱本部御殿墓 (史 跡) 令和3年2月25日指定	我如古 : 宜野湾市と西原町との境近く、沖繩病院の道向かい、しいの実保育園南側の丘陵に所在する。	第二尚氏王統第十代尚質王の六男・尚弘信、本部王子朝平を元祖とする亀甲墓で、市内の古式亀甲墓と類似する。元祖朝平が洗骨された1694(康熙33)年以降に造墓されたと推察される。
ふてんまぐどうけつ ⑲普天満宮洞穴 (名 勝) 平成3年8月1日指定	普天間 : 旧琉球八社の一つ、普天満宮の境内にある洞穴で、洞穴内には拝所の奥宮が所在。	全長280mを測る洞穴で、つらら石や石柱などの鍾乳石が発達している。入口付近には数万年前のシカの化石や縄文時代相当の遺物などが出土する。
おおじやなめーぬかーたんすいこうそう ⑳大謝名メヌカー淡水紅藻 (天然記念物) 平成3年8月1日指定	大謝名 : 上記の大謝名メヌカーの樋(水口)と湧き水の落ちる底石に生育する。	2種の淡水紅藻(オオイシソウ、タニコケモドキ)が生育。本市の豊かな湧泉と河川を特徴づける植物で、本市の地勢の成り立ちを教える生きた化石でもある。いずれもレッドデータブックに掲載されている。
うでなが さわだむし ㉑ウデナガサワダムシ (天然記念物) 昭和51年5月29日指定	市全域 : 「宜野湾市森の川」後方のマヤーアブと宜野湾市野嵩一区にあったターバルガマと呼ばれる洞穴に生息。	洞穴の環境に適応した体長5~6mm程の小さな虫で、クモやサソリの仲間である。限られた場所だけに生育し、移動する力が極端に弱いのので、地域の地史を語る貴重な生き物。

資料 : 文化課

市登録文化財

名 称	所 在 等	内 容
かみやま・あいちぬーるがー ①神山・愛知ヌールガー (有形民俗文化財) 平成25年3月28日登録	愛 知 : 普天間飛行場の近く、宜野湾小学校脇の道を通り、あいのもり保育園の裏手側斜面に所在。	宜野湾ノロに関わる湧泉という伝承があり、当初は宜野湾のカリカル(嘉手苺・屋号)が管理していたようである。戦前までは神山集落の旧家が崇拜し、戦後は字神山郷友会がハチウビー(初御水)の祭祀で拝んでいる。愛知では、ウブガー(産泉)として敬っている。
あざぎのわんのねんちゆうさいし ②字宜野湾の年中祭祀 (無形民俗文化財) 平成26年8月15日登録	宜野湾 : 「土帝君例祭」は宜野湾公民館裏の土帝君で旧暦二月二日、「カーサレー拝み」は普天間飛行場内のウブガーで旧暦六月二十五日、「シマクサラシ」は宜野湾区内で旧暦八月十日。いずれも宜野湾区自治会と字宜野湾郷友会が合同で行う。	戦前まで字宜野湾で行っていた年中祭祀のうち現在まで受け継がれている祭祀。「土帝君の例祭」では豊作と集落の安寧を祈願し、「カーサレー拝み」ではウブガー(産泉)の清掃を行い、「シマクサラシ」では集落内に入ってくる悪い伝染病を防ぐことを祈願する。

資料 : 文化課